

キャンパスの通信

岡山で中国短大教員ら



関連記事を解説、展示

効果を説明しながら、国際結婚が破綻した際の子どもの扱いを定めたハーグ条約や、結婚後の夫婦別姓をめぐる裁判を取り上げた新聞記事について解説。東科長らは、岡山県の少子高齢化の実態について「新聞を読むことで関心が深まる」と話した。

展示コーナーは会場の一角に設けられ、山陽新聞などから松井教授が選んだ高齢化問題や子どもの貧困対策、人口予測などを伝える約20の記事を掲示。参加者らが見入り、専門学校生の長畑慧里香さん(20)は「自分たちが社会を知る上で、新聞にもっと興味を持ちたい」と話した。(中田秀哉)

男女共同参画について新聞記事から学ぶ講座・展示が、新聞を教育に活用するNIE実践指定校の中国短大(岡山市北区庭瀬)の教員らによって行われた。岡山市男女共同参画推進週間「さんかくウィーク」(6月21〜27日)にちなんだイベントの一環で、参加者は記事から社会の制度や現状に理解を深めた。

さんかく岡山(同表町)で6月初旬に開かれた関連行事で、講座は同短大の松井圭三教授と岡山医療福祉専門学校(岡山市中区門田屋敷)の東潤一介護福祉科長、高橋洋二同科専任教員が担当した。

松井教授は、NIEの歴史、

男女共同参画の現状は

男女共同参画に関連した新聞記事が掲示されたコーナーさんかく

岡山